

# 2023年ワーキング・スタディ・ツアー アンケート

## 森 啓記

### ○行程や訪問先について

- ・往路便を午前発便利用にして頂いたことにより、8日間のツアーが1日分をより有効に使えて良かったと思う。
- ・小学校訪問数・場所によると思いますが、今回は小学校滞在時間が少し短く慌ただしかったと感じた。
- ・新幹線利用は、ラオスの新たなインフラ整備を経験するには良かった。
- ・中古衣料支援に関連する視察箇所と違い、単組からの参加者によっては、関連団体・行政との意見交換等の場面は、CSAの活動・経緯についてしっかりと事前学習をしていないと少々大変かとも感じた。

### ○事務局の運営などについて

- ・様々ご配慮いただき、ありがとうございました。
- ・事前の役割分担もはっきりしており、協力体制ができており、大変良かったと感じた。

### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

- ・サンティパープ高校生寮卒業生との交流会で、卒業生から口々にCSAに対する感謝が述べられたこと。CSAの活動が、ラオスの将来を担う人財育成に貢献していること。
- ・事前からあくまで個人的な私の勘違いであったと思うが、25番目校のナラオ村小学校は完全な新設校建設であると思っていたので、訪問した時に多くの生徒がすでにいたことに驚いた。

### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

- ・CSAの永年の地道な活動が高く評価されており、日本の労働組合活動が評価されているように見え、素晴らしい活動であると感じた。

### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

- ・現在の活動を継続していくことを前提に、CSAの活動をもっと広く知ってもらうことが重要であり、SNSも地道に更新するなど情宣活動に取り組みながら理解者や協力者を増やしていくことが重要であると思う。
- ・中古衣料を集約できない現状で、加盟組合における組合員参画型の取り組みを検討することにより募金の増加にもつながると考える。(簡単でなく、すみません)
- ・教育支援において、課題である教師育成への協力事業など。

## 末 晶利

### ○行程や訪問先について

- ・視察や公式訪問等様々な設定をいただき、非常に貴重な経験をさせていただいた。
- ・日によって非常にタイトなスケジュールであったことから、公式訪問が2ヵ所の場合午前午後で各1ヵ所の設定にするとよいのではないかと感じた。(調整が難しいかとは思いますが)

### ○事務局の運営などについて

- ・スムーズな運営に加え、細かな部分までお気遣いいただきありがとうございました。

### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

- ・小学校訪問時に接した子供たちの真っ直ぐな目と笑顔。(＋昼食)
- ・サンティパープ高校の寮生や卒業生をはじめ、多くの方がCSAの支援に対する感謝が心からのものであると感じられたこと。

### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

- ・学校建設や教育活動支援等、内容は知っていたものの、実際に現地にて自身の目で見、感謝の言葉を多くの方から聞くことで、本当に素晴らしい活動をしていると実感した。

### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

- ・ラオス国内での教育支援活動は引き続き行っていくべきと思う。
- ・教育・経済・労働、全ては繋がっており、統一的に支援することが重要という言葉が印象的であった。具体的な活動内容ではないが、統一的な支援の検討も必要ではないかと思う。

## 雪丸 貴宏

### ○行程や訪問先について

- ・予定を詰め込みすぎず、時間的、肉体的にちょうどよい行程でした。
- ・次のアポの時間や飛行機、新幹線の時間がありますので中々難しいと思いますが、一部訪問先で滞在時間が短く感じました。(AAR、ナラオ村小学校)。一方で、短い時間でも、工夫してそれぞれ交流ができるよう調整されていたとも感じております。実際に行程を組むのは難しいということも承知しております。
- ・訪問先についても、交流・視察パートと、各団体との情報交換のパートとちょうどよいバランスだと思います。特に、今回は新たな事業を検討することを目的にしていたと思いますので、参加者としては様々な団体の活動も知ることができて勉強になりました。

### ○事務局の運営などについて

- ・参加者の体調に留意した運営を意識してくださり、それが一番助かりました。
- ・ラオスのキープへの両替をどの程度していいのか、何ドル程度用意した方がいいのかは、人によってそれぞれと思いますが、打ち合わせの際に、羽田空港で到着時刻までに50ドル両替しておくとその分、現地でキープに変えることができること、バーツはタイ国際空港で円から両替できることのご案内があるとより分かりやすかったように感じました。
- その際に、10万キープでどの程度の買い物ができるか(水：○キープ、お菓子：○キープ)といった目安があるとよりよいと思いました。

### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

- ・サンティパープ高校の生徒たちが、親元から離れて大変な環境にあるにもかかわらず、明るく、ひたむきに学生生活を送っている姿に大変、感銘を受けました。
- ・卒業生たちとの交流会では、各自がさまざまな思いや境遇に置かれながらも、国のために、そして自分や家族の生活のために、一生懸命今を生きる姿を目の当たりにしました。また、CSAへの感謝の気持ちを語るときの学生たちの目はうるんでいるように感じました。CSAの活動が何人もラオスの学生たちの生活に貢献していることを実感することができました。

- ・小学校を訪れた際に、子供たちの服装、靴を見ても、貧しさが伝わってきましたが、みんな明るく私たちのことを歓迎してくれたことも印象に残っています。しかし、ラオス全土を見渡すとまだまだ通学が困難な小学生、中学生がいると聞きましたので、小学校建設の継続が必要と感じました。

#### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

- ・CSAの活動が、現地の方々から大変感謝されていることを実感するとともに、長年継続して取り組んできたことから現地でのネットワークも構築されており、今後もこの運動を継続していくことが重要だと感じました。

#### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

- ・今の活動をベースに、時代の変化や各国のニーズを踏まえた、現地の方々に感謝される支援を継続して行ってほしいと考えております。
- ・中古衣料カンパの取り組みに代わる新たな事業を検討しているとのことですが、視察の際に森さんから話に出たように思いますが、「日本の組合員にも支持される、共感できる」かつ「現地の方々にも必要とされる」そんな活動をめざしていただきたいと思っています。
- ・この取り組みをより多くの方に知ってもらう活動が今後のCSA活動の財政基盤構築にも必要と感じました。そのためには、私含めて現地を視察したメンバーが今回得た経験を忘れずに、継続して単組や様々な場面で語っていくことが大事だと思いました。そうした活動を促す取り組み（例えば、視察メンバーによる同窓会兼自分が単組でどのような活動をしたか情報共有するなど）を、ZOOMなどで、開催後、数か月後に行ってもいいのかもしれないと思いました。
- ・また、アイデアレベルで恐縮ですが、今回の視察セミナーの動画や、CSAの活動を簡単に単組の方々にも知ってもらえる紹介動画などがあると、視察メンバーが単組で情報発信していく際にも活用できると思います。
- ・国外にてメンバーを帯同して行動することは予想以上に神経を使うことと思います。事務局の二人には大変感謝しております。引き続きよろしく願いいたします。

## 小武方 陽子

#### ○行程や訪問先について

観光では経験することのできない学校や外務省、教育省への訪問先は貴重な経験でした。ナラオ村小学校での滞在時間が少なくもう少し日本の文化をお伝えしたいなと感じました。しかし適時休憩があり車での移動でしたので体への負担はほとんど感じませんでした。

#### ○事務局の運営などについて

事前の説明もしてくださいましたので心配はありませんでした。参考までですがドル両替は2万円もあれば十分との説明でしたが1万分位で十分かと感じました。都度、パスポートの確認やトイレタイム等お声がけをくださり、鈴木さん山崎さん共にきめ細かなお気遣いで感謝しております。

#### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

1つは学校訪問です。この活動によって子供達が教育を受けられる環境に心から喜びを感じているのがとてもよく伝わりました。特にナラオ村小学校では児童達がカラフルな折り紙を貰っただけで目を輝かせている姿は目に焼き付いています。雨風を凌げる新校舎で一層学ぶ事への意欲に繋がるのではないかと思います。

立派な企業に勤めているサンティパーブ高校卒業生の皆さんがこれからも自分達と同じように後輩達にも勉強する環境を支援して欲しいと願っている事に心打たれました。

#### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

このスタディ・ツアーに参加するまでお恥ずかしながらCSAの活動をきちんと把握しておらず実際に教育省や学校を訪問しCSAの活動を十分理解することが出来ました。

1981年から国と国との懸け橋になり友好的関係を築き上げられた事の功績は日本においても影響があることだと認識致しました。現地の人々は助け合いの心をもった民族ですので今後も日本と友好的関係を築き続ける事で子供が社会に出たとき何らかの形で日本に影響をもたらすきっかけになるのではないかと期待しています。

#### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

コロナや輸送費等の関係で中古衣料は送れないものの、教育をするうえで必要なノートや鉛筆、ボール等はもっと数を増やして欲しいと感じました。他には縄跳びやけん玉、日本の遊び道具も物資支援に入れてもいいのかなと感じました。

## 中原 大海

#### ○行程や訪問先について

- ・訪問先や内容については、CSA活動と各国情勢含めた実態を知る上で適度なものだと感じました。ただ、小学校→AAR事務所→ルアンパバンへの移動のように、やや駆け足だったところもあり、先方の都合次第なので仕方ないとは思いますが、引き続き、可能な限り時間配分にご配慮いただければと思います。

#### ○事務局の運営などについて

- ・細かな予定変更が何度かあったなか、柔軟に対応していただいたと感じています。また、各メンバーの状態にも毎日気配りをいただき、ありがとうございました。

#### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

- ・サンティパーブ高校寮卒業生らとの交流および寮視察での実態把握：この二つの行程により、寮運営支援の重要性をより深く理解することができました。
- ・ラオスおよびタイ各日本大使館訪問：各国の情勢を知ることができ、CSAの活動がまさに支援を行っている部分を実感できたことと、まだまだ立入る余地のあるところは多いことの両面を確認できました。

#### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

- ・サンティパーブ高校寮の運営支援や小学校建設／保全活動が、ラオスの子どもたちの生活や将来に多大な好影響を与えており、また本人らや関係者から多数の感謝の言葉もいただき、非常に意義のある活動だと感じました。

#### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

- ・サンティパーブ高校寮運営支援の継続と改善：高校教員やルアンパバン県教育スポーツ局とのやり取りで一部課題もあったとは思いますが、折り合いをつけて継続していく必要があると感じました。

- ・小学校建設／保全も意義ある活動で継続の必要性が高いですが、ラオスでの教員数不足等の“教える側の課題点”も気になっており、そのあたりも踏み込めればより良い活動になると考えます。
- ・衣料支援：コンテナ費増など課題があることは判りましたが、組合員から協力や理解が得られやすい活動でもあり、やり方や規模は見直しながらも継続できればと思います。
- ・AARやJILAF等各支援団体との連携：意見交換や協業を少しずつでも展開できれば、活動の改善や深掘りがお互いに進められていくと感じました。

## 藁科 将彰

### ○行程や訪問先について

多少駆け足になってしまった部分もあるが、全体のボリュームに対しては適切なスケジュールだとおもう。あえて課題があるとすれば、AAR Japan Laos事務所やJIRAFバンコク事務所訪問は時間があまりなく、お互いの活動内容の紹介くらいしかできなかったのもう少し時間が取れると有意義な情報交換ができるのではないかと感じた。

### ○事務局の運営などについて

毎朝のミーティングや、適切なタイミングでの情報展開をしていただき感謝します。運営面で問題は特にありません。

### ○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

- ・ナラオ村小学校訪問時に小学生たちが、満面の笑顔で出迎えてくれたこと。心が洗われました。
- ・サンティパープ高校生寮の卒業生から「CSAの支援のおかげで勉強ができたことに感謝している」とたくさんの方から言われ、CSAの活動の重要性を改めて認識したこと。

### ○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

長年にわたるCSAの支援事業がとても感謝されていることを実感しました。支援事業が単発で終わることなく、継続していくことの重要性を強く感じました。

### ○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

幅広く支援を行うのではなく、アジア最貧国であるラオスへの教育支援事業により特化してもいいのではないかと今回のスタディ・ツアーに参加して感じた。鉛筆やノートなどの文房具も足りていない、教師への支援も必要と教育支援だけでもまだまだやるべきことがたくさんある。

## 藤原 嵩太

### ○行程や訪問先について

いろんな関係先に行くことができ、とても満足しています。各団体（AAR等）に行ったときに時間がないのは、もっと話を聞きたいなと思いました。

### ○事務局の運営などについて

特に問題はありません。親切にしてもらい、ありがとうございました。

○訪問先で特に強く印象を受けたことはなんですか？

個人的には大使館が訪問でき、お話を聞く機会があったことは、とても刺激的でした。  
また小学校での紙飛行機を子供たちに教えたことも印象深いです。

○スタディ・ツアーを通じてCSAの活動をどう感じましたか？

中古衣類と学校設立の活動しか知りませんでした。とても各国に貢献しているんだなと感じました。もう少し組合員が活動内容を知ってもよいと感じます。

○CSAは今後どんな活動をするべきと考えますか？

ラオスやタイでの本当のニーズがあったと思うので、そこをもう少し追及したらよいと思いました。  
ただ今行っている活動は継続すべきだと感じます。